安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称(製品名)	マイスターリキッド
会社名	クラレノリタケデンタル株式会社
住所	東京都千代田区大手町2－6－4　常盤橋タワー
担当部署	品質保証室
電話番号	03-6701-1730
Fax番号	03-6701-1805
緊急連絡先	0120-330-922 （月曜～金曜 10:00～12:00、13:00～17:00） 050-3499-2717（上記フリーダイヤル営業時間外）
推奨用途および使用上の制限	歯科用陶材の関連付属品
整理番号	825-230000ML

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険	GHS分類に該当する項目はない	
健康に対する有害性	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1（中枢神経系、血液系） 区分3(麻酔作用)
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分1（中枢神経系、呼吸器系）
環境に対する有害性	GHS分類に該当する項目はない	

シンボル

注意喚起語　危険

危険有害性情報
眠気又はめまいのおそれ
臓器の障害
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

注意書き

安全対策　粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
取り扱い後は手、顔をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

応急措置　ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。
気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

保管　施錠して保管すること。
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

廃棄　内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し適切に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

組成情報は営業上の秘密に該当するため、含有量を幅記載とする。

化学物質・混合物の区別　混合物

化学名又は一般名	濃度(%)	CAS番号	化審法公示番号	安衛法(閾値) 表示	安衛法(閾値) 通知	PRTR法管理番号	毒劇法
精製水	60-70	7732-18-5	対象外	非該当	非該当	非該当	非該当
ﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙ(ﾌﾟﾛﾊﾟﾝ-1,2-ｼﾞｵｰﾙ)※	30-40	57-55-6	2-234	≧1%	≧1%	非該当	非該当
その他(添加剤)	＜5	非公開	非公開	非該当	非該当	非該当	非該当

4．応急措置

吸入した場合　直ちに新鮮な空気の場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。
皮膚に付着した場合　直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。
眼に入った場合　直ちに流水で15分間以上洗い流し、必要に応じて眼科医の処置を受ける。
飲み込んだ場合　直ちに水又は食塩水を飲ませて吐かせ、医師の処置を受ける。
応急処置をする者の保護　救助者はｺﾞﾑ手袋と密閉ｺﾞｰｸﾞﾙなどの保護具を着用する。

5．火災時の措置

適切な消火剤　水、粉末・二酸化炭素、乾燥砂
特有の危険有害性　情報なし
使ってはならない消火剤　特になし
特有の消火方法　速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合には、容器及び周囲に散水して冷却する。
初期の火災には、粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。大規模火災の際には、泡消火器などを用いて空気を遮断することが有効である。
消火を行う者の保護　呼吸保護具を着用する。

6．漏出時の措置

人体に対する注意事項　作業者は適切な保護具(「8.ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用する。
保護具および緊急措置　作業の際は適切な保護具を着用し、漏洩した液が皮膚に付着したり、蒸気を吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。付近の着火源となるものを速やかに取り除く。露出した場所の周辺にﾛｰﾌﾟを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
環境に対する注意事項　流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起こさないよう注意する。大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
回収・中和　漏洩した液はけいそう土などに吸着させて、空容器に回収する。漏洩した場所は、水で十分に洗い流す。
二次災害の防止策　付近の着火源となるものを速やかに取り除くとともに消火剤を準備する。

7．取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱い注意事項　『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の適切な保護具を着用する。
皮膚に付けたり、蒸気を吸入しないように適切な保護具を着用する。火気厳禁。
作業場所の換気を十分行う。
密閉された装置、機械、又は局所排気装置を使用する。取扱いは換気のよい場所で行う。
酸化剤と接触させない。
使用前に添付文書及び取扱説明書をよく読む。
本品に対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある作業者は使用しない。

保管

保管条件　直射日光を避け、冷所に保管する。
容器包装材料　ｵﾘｼﾞﾅﾙの容器に保管する。

8．ばく露防止及び保護措置

管理濃度　未設定
(作業環境評価基準)
許容濃度

日本産業衛生学会　情報なし
ACGIH　情報なし

設備対策　取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。
保護具

呼吸用保護具　必要に応じて防塵ﾏｽｸを着用する。
手の保護具　必要に応じて、ｺﾞﾑ製などの不浸透性の手袋を着用する。

眼、顔面の保護具	保護眼鏡又は安全ｺﾞｰｸﾞﾙを使用する。
皮膚及び身体の保護具	保護衣(長袖作業衣)、保護長靴、保護服等
衛生対策	情報なし

９．物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	透明色
臭い	なし
融点・凝固点	情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲	情報なし
可燃性	情報なし
爆発下限及び爆発上限界/可燃限界	情報なし
引火点	情報なし
自然発火点	情報なし
分解温度	情報なし
pH	情報なし
動粘性率	情報なし
溶解度	
水	ﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙ　：　自由に混合
有機溶剤	ﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙ　：　ｴﾀﾉｰﾙ、ｸﾞﾘｾﾘﾝ、ｱｾﾄﾝなどと自由に混合
n-オクタノール/水分配係数	情報なし
蒸気圧	情報なし
密度及び/又は相対密度	1.0 g/cm^3
相対ガス密度	情報なし
粒子特性	情報なし
その他のデータ(放射性、かさ密度、燃焼持続性)	情報なし

１０．安定性及び反応性

反応性	酸化剤と接触すると反応することがある。
化学的安定性	通常の取扱いでは安定。
危険有害反応可能性	酸化剤と接触すると反応することがある。
避けるべき条件	日光、熱
混触危険物質	酸化剤
危険有害な分解生成物	CO、CO_2

１１．有害性情報

成分の有害性情報

急性毒性	
経口	区分外
経皮	区分外
吸入	情報なし
皮膚腐食性／刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分外
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分外
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1(中枢神経系、血液系) 区分3(麻酔作用)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(中枢神経系、呼吸器)
誤えん有害性	分類できない

１２．環境影響情報

成分の環境有害性情報

生態毒性	区分外
残留性・分解性	良分解性
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	分類できない

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物	ｽｸﾗﾊﾞｰを具備した焼却炉で焼却処理を行う。 廃棄の際は、関連法規ならびに地方自治体の規準に従う。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装	空容器を破棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。 容器は関連法規ならびに地方自治体の規準に従って適切な処分を行う。

１４．輸送上の注意

国際規制	海上規制情報 ： IMOの規定に従う。 UN No. ： － Proper Shipping Name ： － Class ： － Packing Group ： － 航空規制情報 ： ICAO／IATAの規定に従う。 UN No. ： － Proper Shipping Name ： － Class ： － Packing Group ： －
国内規制	陸上輸送情報 ： 該当する法律に従う。 海上輸送情報 ： 船舶安全法に従う。(IMOに準拠) 航空輸送情報 ： 航空法に従う。(ICAOに準拠)
特別安全対策	転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。 直射日光を避けて輸送する。
緊急時応急措置指針番号	—

１５．適用法令

化審法	優先評価化学物質:ﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙ
安衛法	名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 ： ﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙ
化管法(PRTR法)	非該当
毒劇法	非該当
消防法	第4類 第三石油類 水溶性 危険等級Ⅲ :ﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙ
じん肺法	非該当
大気汚染防止法	非該当
土壌汚染対策法	非該当
水質汚濁防止法	非該当
海洋汚染防止法	施行令別表第1有害液体物質(Z類物質等) :ﾌﾟﾛﾋﾟﾚﾝｸﾞﾘｺｰﾙ

１６．その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。このSDSは、新しい知見により予告なく改訂することがあります。